

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	株式会社東陽テクニカ			コード	8151				
提出日	2024/11/25	異動（予定）日		2024/12/20					
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会に社外役員の選任議案が付議されるため								
<input checked="" type="checkbox"/> 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）									

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）													異動内容	本人の同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし		
1	西 勝也	社外取締役	○										△					有
2	須加 深雪	社外取締役	○									△						有
3	依田 智樹	社外取締役	○											○				有
4	瀧谷 信	社外監査役	○											○	新任			有
5	森川 紀代	社外監査役	○											○				有
6	堀之北 重久	社外監査役	○											○				有
7	藤原 久美子	社外監査役	○											○	新任			有

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1	社外取締役の西勝也氏が、2021年6月まで代表取締役を務めていたサンデン株式会社との取引額の当社売上高に占める割合は1%に満たない軽微なものです。	当社と出身会社（及びそのグループ）との取引の規模、性質に照らして一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立性を有していると判断しているため。なお、西氏はサンデン株式会社にて代表取締役社長を務め、経営企画、財務、経理及び企業経営における長年の経験から、その分野での幅広い知識・経験を有しており、当社の経営全般に対し適切なご意見やご指導を期待できること、並びに客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与いただくことを期待しております。
2	社外取締役の須加深雪氏が、2024年3月まで業務執行者として勤めていた株式会社日立ソリューションズとの取引額の当社売上高に占める割合は1%に満たない軽微なものです。	当社と出身会社（及びそのグループ）との取引の規模、性質に照らして一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立性を有していると判断しているため。なお、須加氏は営業分野やダイバーシティにおける豊富な経験と幅広い見識を有しており、当社の経営全般及びダイバーシティの推進等に適切なご意見やご指導を期待できること、及び客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与いただくことを期待しております。
3		当社と出身会社（及びそのグループ）との取引の規模、性質に照らして一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立性を有していると判断しているため。なお、依田氏は三菱商事テクノス株式会社の代表取締役社長を務め、グローバルな事業経営の経験と幅広い知識を有しており、当社の経営全般及び営業活動に対する適切なご意見・ご指導を期待できること、並びに客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与いただくことを期待しております。
4		当社と出身会社（及びそのグループ）との取引の規模、性質に照らして一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立性を有していると判断しているため。なお、瀧谷氏は企業経営、企業法務及び監査役としての企業監査等で培った豊富な経験及び実績に基づき様々な着眼点から監査を実施することにより、適法性の監査に加え、経営の監視機能としての役割も期待しております。
5		当社と森川氏及び同氏の所属事務所との取引がなく、一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立性を有していると判断しているため。なお、森川氏は弁護士として現在活躍中の入材であり、法律分野での豊富な経験及び実績に基づき様々な着眼点から監査を実施することにより、適法性の監査に加え、経営の監視機能としての役割も期待しております。
6		当社と堀之北氏及び同氏の所属事務所との取引がなく、一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立性を有していると判断しているため。なお、堀之北氏は公認会計士として現在活躍中の入材であり、財務会計分野での豊富な経験及び実績に基づき様々な着眼点から監査を実施することにより、適法性の監査に加え、経営の監視機能としての役割も期待しております。
7		当社と藤原氏及び同氏の所属事務所との取引がなく、一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立性を有していると判断しているため。なお、藤原氏は公認会計士として現在活躍中の入材であり、財務会計分野での豊富な経験及び実績に基づき様々な着眼点から監査を実施することにより、適法性の監査に加え、経営の監視機能としての役割も期待しております。

4. 補足説明

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f. g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄附を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。
近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。